



議案質疑

問 防災対策事業のハード・ソフト両面で予算措置した事業は、桜保育所に津波高潮緊急時避難施設を整備。

答 ハード面では、桜保育所に津波高潮緊急時避難施設を整備。ソフト面では、業務継続計画（BCP）策定業務委託を30年度、31年度の2カ年計画で完成をめざす。

地域防災計画に基づいた課ごとの初動マニュアルを作成する。

問 防災対策事業のハード・ソフト両面で予算措置した事業は、桜保育所に津波高潮緊急時避難施設を整備。

答 ハード面では、桜保育所に津波高潮緊急時避難施設を整備。ソフト面では、業務継続計画（BCP）策定業務委託を30年度、31年度の2カ年計画で完成をめざす。

！ 県・市・町村の各首長会及び議長会

大変。国へ支援を求め、市は低所得者の負担軽減を。

答 介護・医療・国保などは住民福祉の根源。地方6団体[！]で財源確保と制度の安定を求める。市では社会的弱者に寄り添った制度がある。

反対

那須英二議員 市民負担の軽減を

保育料の値上げや福祉センターのシャワー等の廃止等、市民負担増になる。

子育て世帯の定住促進による税収増や、健康促進で医療費の削減を。

また、国民健康保険は、市民負担の軽減を図るため、県より繰入金を入れるべき。強く要請する。

反対

三宮十五郎議員 弱者対策を早急に

28年度は市の65歳以上の54.6%が市民税非課税である。介護を受けていても身体障がい者手帳を持っていない人が、千人近くいるが改善されていない。専門職員などを配置し、遅れている弱者対策を早急に改善すべき。

討論

賛成

平野広行議員 重点目標に沿った予算措置

新庁舎建設工事費の財源において、緊急防災・減災事業債を起債し、当初予定の一般財源所要額より約7億7千万円の圧縮が可能となり、起債の有効活用がなされた。防災関連予算では、桜保育所屋上への避難場所整備事業、市内各地の冠水対策としての排水対策費が増額され、本市の重要施策である「もっと災害に強いまちづくり」に基づく予算計上となっており、30年度予算に賛成するものである。

請願

請願事項

請願者 津島民主商工会 会長 戸田敏男
紹介議員 三宮十五郎 那須英二

国に対し、国民健康保険に対する国庫負担を抜本的に引き上げることを求める意見書の提出を求める。

反対討論 佐藤高清議員

国からの一元的な財政支援によるものだけでなく、被保険者の予防や健康づくり、医療費の削減を保険者である市町村の努力によって成し遂げるために、市議会は知恵を出していかなければならない。

そして、この努力を国・県に示していくことで保険者努力支援制度のインセンティブを得ていくべきである。

よってこの請願に反対する。



本会議最終日